

第3学年 国語学習モデル指導案

1. 単元名 「気持ちを伝える話し方・聞き方」

2. 本時について

(1) 本時の目標

○自分の気持ちを正しく伝えたり、話を受け止めたりするためにどのような工夫が必要か考えることができる。

(2) 本時の展開(最後の15分の展開)

分	学習活動	発言例
1	☆ワークシート「気持ちをつたえよう！気持ちをうけとろう！」を配付し、日常生活で想定される場面で、どんな話し方や聞き方をすればよいのかについて考える。	
2		
5	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシートの2つの場面の状況を確認し、イラストのような対応だと、どんな印象をもつのかについて考え発表する。 ●ペアやグループごとに、よりよい表情や言葉の選び方について考えてから、クラス全体で意見交換する。 	<p>T: あやかさんやゆずるさんの様子を見て、どんな印象を受けましたか。</p> <p>C: 全然「いいよ。」という気持ちがあるように見えないよ。</p> <p>C: 話を聞いてくれていないように、見えてしまうよ。</p> <p>T: あやかさんやゆずるさんは、どんな表情で言葉を伝えたり、受け取ったりしたらよいでしょうか。</p> <p>C: あやかさんは、向かい合って優しく笑顔で言ったら、「ごめんね。」と言った友達も安心すると思う。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ●お互いの気持ちが正しく伝わることのメリットについて考え、ワークシートに記入する。 ●何人が発表し、全体で共有する。 	<p>C: ゆずるさんは、驚いた顔や心配そうな顔をして、「大丈夫？」って聞いてあげるといいと思う。</p> <p>C: そうすると、話をした友達も「話が伝わった。」って感じがするよね。</p> <p>T: お互いの気持ちが正しく伝わると、どんなよいことがあるのでしょうか。</p> <p>C: お互いすっきりした気持ちになるね。</p> <p>C: いつも仲良しでいられる。</p>
13	☆キャリアの視点につながる解説(児童への落とし込み)をする。	
	<p>会話は一人で行うものではなく、相手がいてこそ成立します。相手がどんなことを伝えようとしているのかを自分の考えや気持ちと比べながら聞いたり、相手や場に応じて自分の考えや気持ちを伝えたりすることは大切なことです。そのためにも、思いやりの心を持ち、表情や抑揚などを使って気持ちのこもった話し方や聞き方ができるといいですね。それは、お互いが気持ちよく日常生活を過ごすことにつながりますし、友達や家族などの人間関係をよりよくしていくことにもつながります。</p>	